

PMDA 医療安全情報

(独)医薬品医療機器総合機構

pmda No.62 2022年 3月

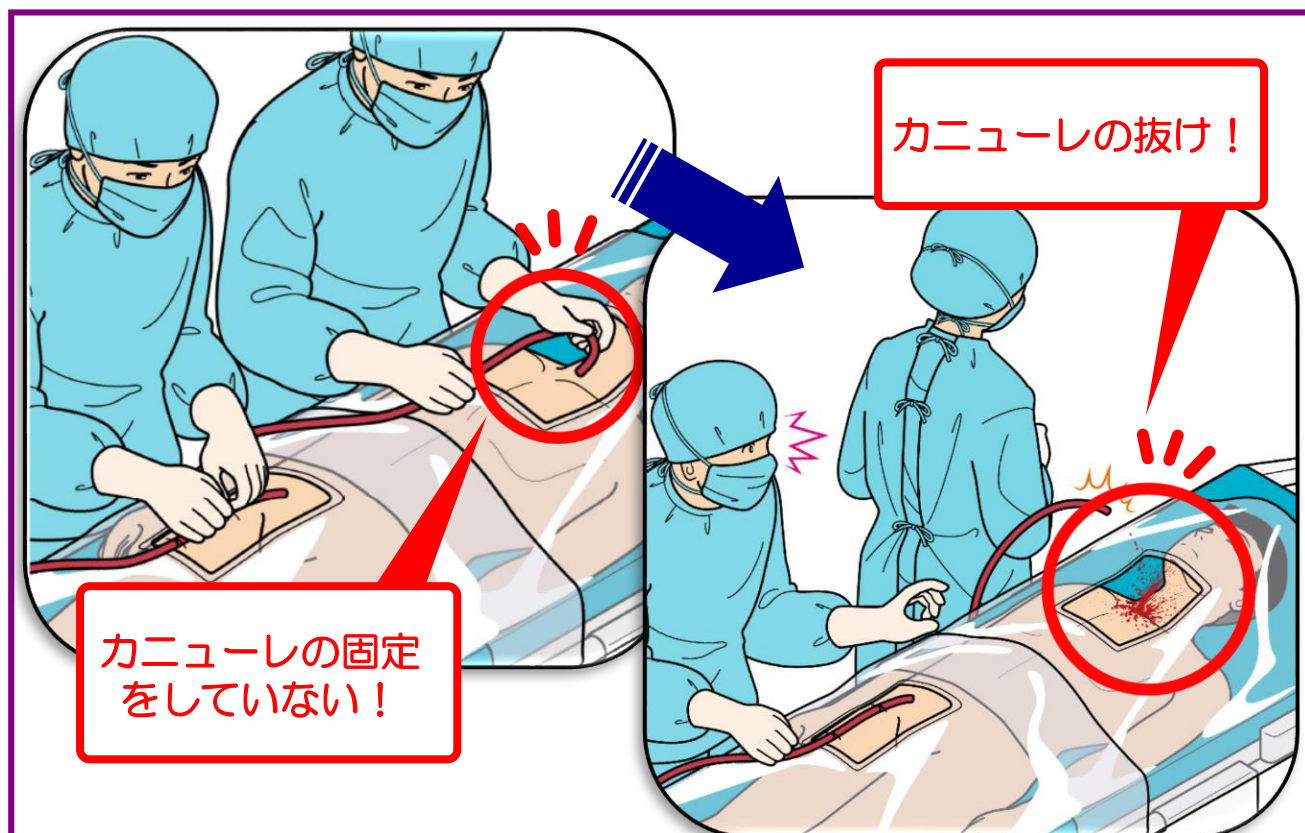
PCPS/ECMOカニューレの抜去事例について

POINT 安全使用のために注意するポイント

(事例1) 挿入術者と糸固定術者が異なり、両者の連携不足によって抜けてしまった。

1 カニューレ固定時の注意点

- 処置等の進捗状況について共有すること。



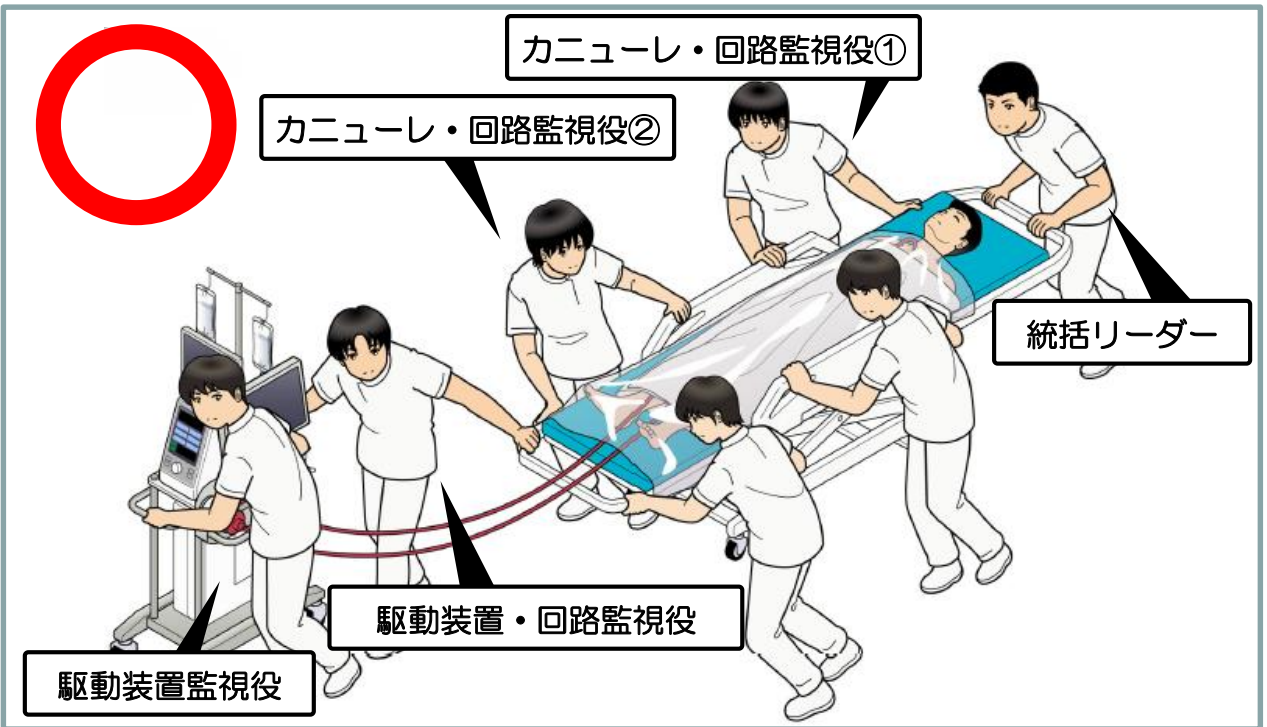
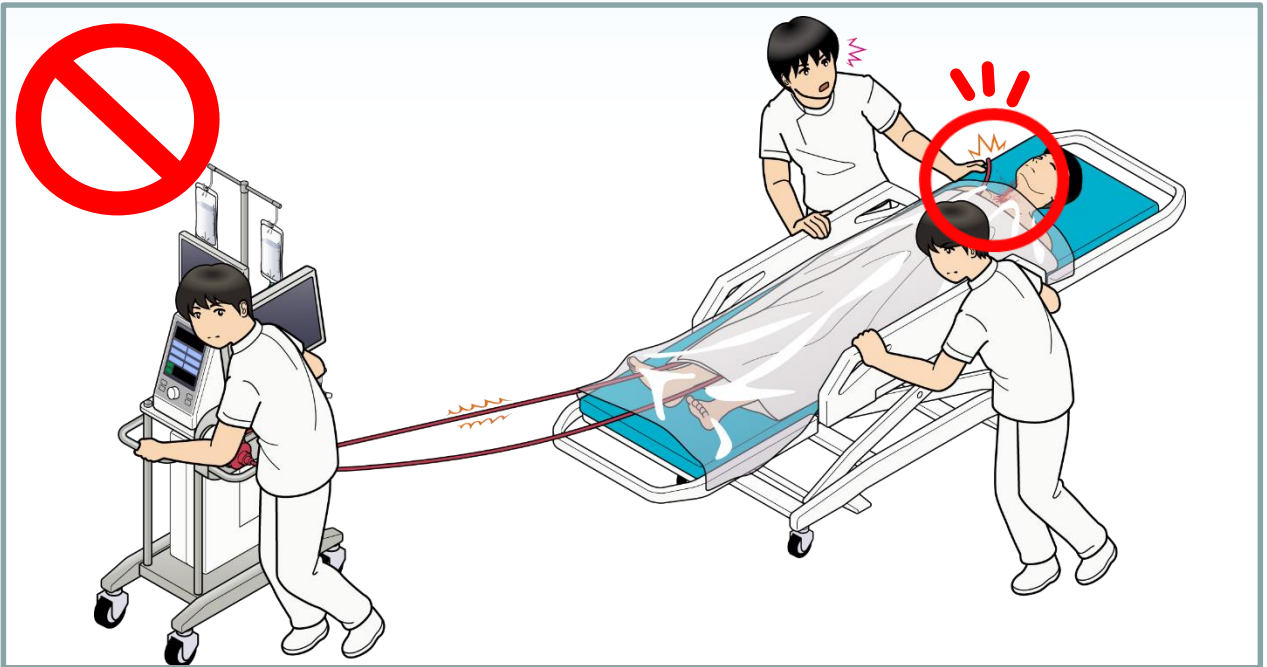
カニューレの挿入が完了し、補助循環開始後はカニューレの重み等で移動する可能性があるため、縫合糸で固定が完了するまではカニューレを保持するなど、抜けないための手順を予め決めておきましょう。

(事例2) ストレッチャーでの移送時に、ストレッチャーと駆動装置との距離が離れてしまい抜けてしまった。

2 移送・移動時の注意点

- 移送・移動時は事前に統括リーダーや人員配置等を決定すること。

駆動装置との距離



移送・移動時のカニューレ抜去を回避するために、事前に役割分担の決定やトラブルシミュレーション等を実施しておきましょう。

(事例3) 体位変換時にカニューレが引っ張られ、10cmほど抜けてしまった。

3 体位変換時の注意点

- 体位変換時は声かけやカニューレの位置・回路の配置を確認すること。



確認が不十分!



カニューレの意図しない抜けの発生により、出血、血圧低下など重大な症状に至った事例が報告されています。

この「PMDA医療安全情報No.62」に関連したECMO及び人工呼吸器の取り扱い研修に関する通知が厚生労働省より出されています。

- 令和3年4月1日付 事務連絡
「新型コロナウイルス感染症重症患者に対応する医療従事者養成研修事業の実施について」

本情報の留意点

- * このPMDA医療安全情報は、公益財団法人日本医療機能評価機構の医療事故情報収集等事業報告書及び医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律に基づく副作用・不具合報告において収集された事例の中などから、独立行政法人医薬品医療機器総合機構が専門家の意見を参考に医薬品、医療機器の安全使用推進の観点から医療関係者により分かりやすい形で情報提供を行うものです。
- * この情報の作成に当たり、作成時における正確性については万全を期しておりますが、その内容を将来にわたり保証するものではありません。
- * この情報は、医療従事者の裁量を制限したり、医療従事者に義務や責任を課したりするものではなく、あくまで医療従事者に対し、医薬品、医療機器の安全使用の推進を支援する情報として作成したものです。

どこよりも早く
PMDA医療安全情報を
入手できます！
登録はこちらから。

